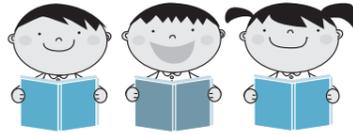




図書室だより



『陽気なギャングは三つ数えろ』伊坂 幸太郎:著 (一般図書)



祖母絶体絶命のカウントダウン!史上最強の天才4人組ギャング一味に強敵が出現する!本書では、暴漢から救った火尻は、実は事件被害者のプライバシーをもネタにするハイエナ記者であった。正体に気付かれたギャングたちの身辺で、厄介なトラブルが頻発する。強敵の容赦ない連続攻撃を受け、終いには窮地に追い詰められてしまった。果たして、彼らは火尻の弱点を見つけることができるか?火尻とギャングたちの必死の攻防が描かれています。

『りんごかもしれない』ヨシタケ シンスケ:著 (児童図書)



テーブルの上にあるりんご。でも、これはりんごでないかもしれない。大きなサクランボの一部かも...?それとも何かのタマゴかもしれない...?本書では、ひとつのりんごをめぐる、次々繰り広げられる不思議でユニークな世界観が描かれていて、物の見方を少し変えれば、ひとつのりんごで無限に遊べます。また、楽しみながら発想力を付ける方法が盛り込まれています。子どもだけでなく、大人の方も楽しめます。読み聞かせにもおすすめの一冊です。

広野町図書室 新着本のご案内

■平成28年9月入庫分

タイトル	著者	出版社
コンビニ人間	村田 沙耶香著	文藝春秋
泣き童子(わらし)	宮部 みゆき著	KADOKAWA
やめてみた。	わたなべ ぼん著	幻冬舎
大人のおしゃれ Do! & Don't	横村 さとる著	集英社
ラヴィアンローズ	村山 由佳著	集英社
世界一伸びるストレッチ	中野 ジェームズ修一著	サンマーク出版
翻訳できない世界のことば	エラ・フランシス・サンダース著	創元社
小説家の姉と	小路 幸也著	宝島社
危険なビーナス	東野 圭吾著	講談社
火星に住むつもりかい?	伊坂 幸太郎著	光文社
ジャイロスコープ	伊坂 幸太郎著	新潮社
陽気なギャングは三つ数えろ	伊坂 幸太郎著	祥伝社
もののけ姫(上)	宮崎 駿 原作・脚本・監督	徳間書店
もののけ姫(下)	宮崎 駿 原作・脚本・監督	徳間書店

タイトル	著者	出版社
ミライの授業	瀧本 哲史著	講談社
ざんねんないきもの事典	今泉 忠明監修	高橋書店
さむがりやのサンタ	レイモンド・ブリッグズ さく・え	福音館書店
おまかせコックさん	竹下 文子文	金の星社
とんとんとんだれですか	はやし ますみ 作・絵	岩崎書店
ホットケーキできあがり!	エリック・カール 作	偕成社
おおきな木	シェル・シルヴァスタイン作	あすなろ書房
りゅうがいます	ヨシタケ シンスケ作・絵	PHP研究所
ふまんがいます	ヨシタケ シンスケ作・絵	PHP研究所
りんごかもしれない	ヨシタケ シンスケ作	プロズ新社
ぼくのニセモノをつくるには	ヨシタケ シンスケ作	プロズ新社



図書室の開室時間について

開室時間は午前8時30分から午後5時15分となります。

11月の休室日のご案内

8日(火)・15日(火)
22日(火)・29日(火)

※図書室では、利用者から本のリクエストを受け付けています。また、ご家庭で不要となった本をリサイクル図書等として活用しています。詳しくはスタッフまでお尋ねください。

■お問い合わせ先 広野町図書室 ☎0240-27-3211 e-mail: hirono-library@abelia.ocn.ne.jp



広野町ふるさと創生大学通信

「第4回 広野町ふるさと創生大学」を開催しました

今回は10月6日に開催した第4回の講義風景を掲載します。

第4回講義は、福島県立ふたば未来学園高等学校校長 丹野 純一(たんの じゅんいち)先生による「ふたば未来学園の未来創造型教育について」と題して開催されました。

今回は広野町に開校2年目を迎えた、ふたば未来学園高等学校の生徒達の地域との関わりや海外研修の様子などにふれた講義でした。



第4回講義の様子



平成28年10月6日の第4回ふるさと創生大学終了後に、平成28年度ふるさと創生大学修了式を開催し、受講生代表の根本 博さんに修了証書ならびに記念品を授与しました。

○「第3回 広野町ふるさと創生大学」 受講生から感想が寄せられましたので何件かご紹介いたします。 「みんなで防災・減災について考えよう」—家庭での備え—

講師：防災士 佐藤 美嶺 先生

- 今回の講義を受講して、防災・減災について定期的に家族内で話合う事、地域内での助け合い、更には非常時のための備蓄が大切であると強く感じさせられました。
- 自分の身は自分で守るという事が1番大事な事だと思います。私は、災害をあまり受けた事はありませんでしたが今度の3.11の災害は、本当に驚きました。あれほどの大きな地震、津波を考えた事はありませんでした。特に、福島第一原発の事故。誰が予想したのでしょうか?災害は必ず来るものだと思います。あのような地震、津波は何百年前にもきつと広野町にもあったのでしょうか。よって、防災士 佐藤美嶺先生がおっしゃる防災・減災ということからも必要最小限の非常用食、避難用品は備えておく事が必要だと思います。
- 地震、大雨、土砂災害など、大規模な自然災害が多発している現在、命を守ることを一番に考えて、自ら判断し行動できるようになる為に今回の講義は大変勉強になりました。防災士 佐藤先生の母親、主婦としての視点での講義はとても分かりやすかったです。家族構成で日常生活に必要な物がそれぞれ違うので、それに合わせた備蓄品の準備や防災の対応の仕方などを家族と共に話し合うことの必要性を学ぶことができました。
- 避難した際の家族との連絡の仕方などを決めておくべきだと思いました。
- 周りと助け合うことが大切なことがよく分かりました。長期保存食を具体的に提示していただき、日々進化してよい物があるんだなと思いました。被災した経験から、非常時について考え、準備しておくことの大切さを再認識しました。
- 家庭での備えかた、在宅避難という選択という考えかた、我が家なりの考え方を主人と話し合う事ができました。
- 震災から5年が過ぎた広野町で、原子力災害以外の災害の減災について分かりやすく学ぶことができていること。ゆっくりではあるが復興が進んでいるのだなと思いました。
- 講義の中に出てきた「助け上手」、「助けられ上手」になるように各個人ががんばりましょう。

〈問い合わせ先〉 広野町生涯学習課(公民館内) ☎0240-27-3244